

図2-2 / Science誌による科学10大成果のうち日本人が貢献した成果

【2012年】 ○ヒッグス粒子の発見

○幹細胞から卵子を作成

科研費
KAKENHI



齋藤 通紀 京都大学大学院教授【ERATO (2011~2016)】
「齋藤全能性エピゲノムプロジェクト」



林 克彦 京都大学大学院准教授【さきがけ (2011~2014)】
研究領域：「エピジェネティクスの制御と生命機能」
研究課題：「始原生殖細胞の内因性リプログラミング
機構による幹細胞制御」

科研費
KAKENHI

【2011年】 ○光合成たんぱく質の結晶構造解析

科研費
KAKENHI



沈 建仁 岡山大学大学院教授【さきがけ (2002~2005)】
研究領域：「生体分子の形と機能」
研究課題：「生体光エネルギー変換の分子機構 光化学系
II複合体の構造と機能の解明及びその応用」



梅名 泰史 大阪市立大学特任准教授【さきがけ (2011~2014)】
研究領域：「生体分子の形と機能」
研究課題：「光化学系II複合体の酸素発生反応の
構造化学的手法による原理解明」

【2009年】 ○劣悪環境に応答する植物ホルモンの応答経路解明

石濱 泰 慶應義塾大学大学院准教授【さきがけ (2006~2009)】

科研費
KAKENHI

研究領域：「構造機能と計測分析」
研究課題：「オミクス解析用超微小エレクトロスプレー法の開発」



【2008年】 ○細胞の初期化



山中 伸弥 京都大学教授【CREST (2003~2008)】
研究領域：「免疫難病・感染症等の先進医療技術」
研究課題：「真に臨床応用できる多能性幹細胞の樹立」

科研費
KAKENHI

○新しい高温超伝導体

細野 秀雄 東京工業大学教授

【 ERATO (1999-2004) 】 「細野透明電子活性」
【ERATO-SORST (2004-2009)】 「透明酸化物のナノ構造を活用した機能開拓と応用展開」

科研費
KAKENHI



【2007年】 ○ヒトiPS細胞の作成



山中 伸弥 京都大学教授【CREST (2003~2008)】
研究領域：「免疫難病・感染症等の先進医療技術」
研究課題：「真に臨床応用できる多能性幹細胞の樹立」

科研費
KAKENHI

○宇宙線の起源に関する成果

○量子スピンホール効果



永長 直人 東京大学大学院 教授【CREST (2002~2007)、科学研究費助成事業】
研究領域：「高度情報処理・通信の実現に向けたナノ構造体材料の制御と利用」
研究課題：「関連電子コヒーレンス制御」

科研費
KAKENHI